

2025年

2025年9月5日

北海道地方 8月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 8月として歴代2位の高温。 —

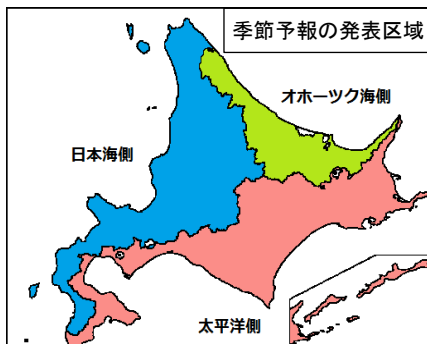
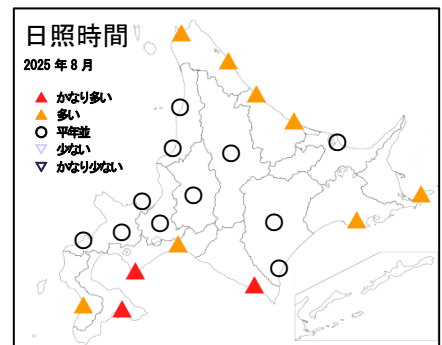
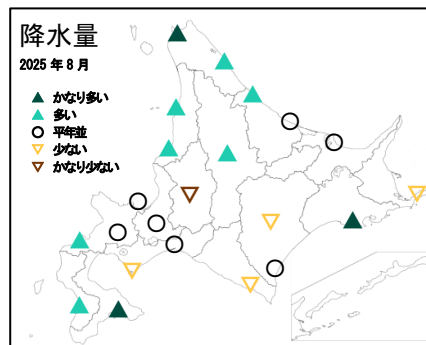
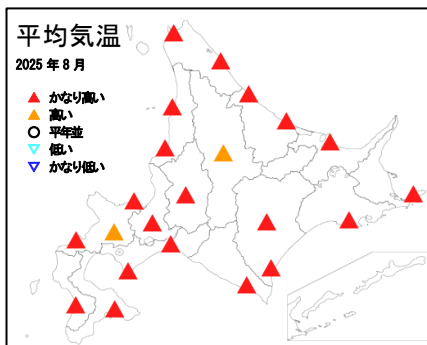
8月は、偏西風が平年より北を流れ、北海道地方は暖かい空気に覆われやすかった。さらに、南高北低の気圧配置となって暖かい空気が流れ込みやすく、晴れた日も多かった。これらの要因により、北海道地方の月平均気温の平年差は+2.8℃となった。1946年の統計開始以降、2023年に次いで、高い方から第2位の記録的な高温であった。また、高気圧に覆われて晴れた日があった一方で、低気圧や前線の影響を受けて、日本海側では記録的な大雨となった日もあった。このため、オホーツク海側と太平洋側の日照時間は多く、日本海側とオホーツク海側の降水量は多かった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。このため、太平洋側の降水量は多かった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、日本海側と太平洋側の気温はかなり高かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、オホーツク海側の日照時間はかなり多かった。一方、低気圧や前線の影響で、17日に留萌地方天塩で1976年の統計開始以降、通年の第1位となる日降水量156.0mmを観測するなど、大雨になった日もあった。このため、日本海側の降水量は多かった。また、暖かい空気に覆われやすく、北海道地方の気温はかなり高かった。太平洋側の旬平均気温の平年差は+3.8℃となり、1946年の統計開始以降、8月中旬として最も高かった。

下旬：低気圧や前線が数日の周期で通過したため、曇りや雨の日が多く、26日に宗谷地方豊富で1976年の統計開始以降、通年の第1位となる日降水量196.0mmを観測するなど、大雨となった日もあった。このため、日本海側とオホーツク海側の降水量は多く、日本海側の日照時間は少なかった。また、暖かい空気に覆われやすく、オホーツク海側と太平洋側の気温はかなり高かった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+28	++	114	+	114	+
日本海側	+24	++	126	+	107	0
オホーツク海側	+3.0	++	125	+	118	+
太平洋側	+3.2	++	93	0	122	+

旬の統計値(地域平均)

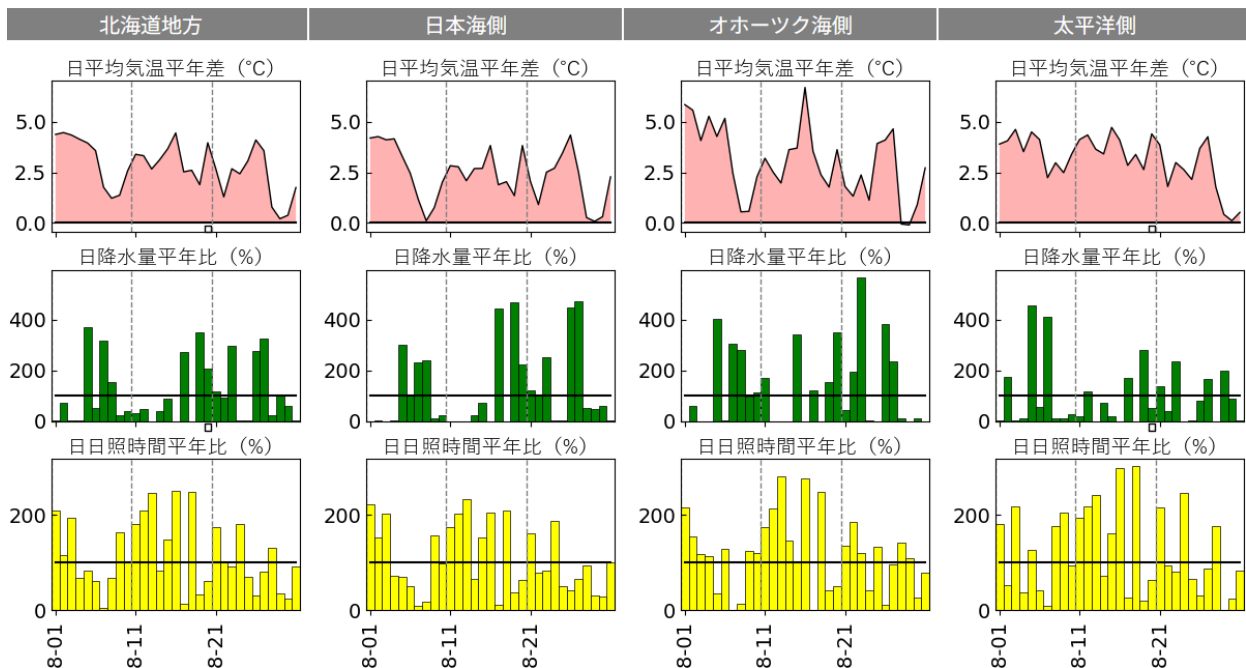
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+3.1	++	112	+	104	0
日本海側	+2.6	++	98	0	101	0
オホーツク海側	+3.6	+	131	0	101	0
太平洋側	+3.5	++	120	+	108	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+3.2	++	109	0	156	++
日本海側	+2.6	++	127	+	140	+
オホーツク海側	+3.3	++	111	0	164	++
太平洋側	+3.8	++	85	0	171	+

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.1	++	122	+	92	0
日本海側	+1.9	+	150	+	85	-
オホーツク海側	+2.0	++	133	+	97	0
太平洋側	+2.3	++	81	0	99	0

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	24.7	+2.4	++	118.5	93	0	173.8	103	0
稚内	22.6	+3.1	++	300.0	244	++	172.9	115	+
北見枝幸	22.0	+2.9	++	286.0	202	+	160.5	125	+
旭川	23.3	+2.1	+	209.5	137	+	151.0	98	0
留萌	23.2	+2.3	++	164.5	130	+	180.8	104	0
羽幌	23.2	+2.3	++	189.0	138	+	187.9	108	0
岩見沢	23.7	+2.4	++	76.5	47	--	166.4	105	0
倶知安	22.6	+2.0	+	135.0	88	0	160.6	107	0
小樽	24.0	+2.3	++	126.0	96	0	161.7	96	0
寿都	23.7	+2.5	++	173.5	133	+	170.3	104	0
網走	22.6	+3.0	++	85.0	74	0	168.6	103	0
紋別	22.2	+2.9	++	113.0	93	0	171.6	118	+
雄武	21.8	+3.0	++	176.5	132	+	175.3	126	+
釧路	22.1	+3.9	++	275.0	193	++	140.6	120	+
根室	20.5	+3.1	++	76.0	57	-	145.1	116	+
帯広	23.2	+2.9	++	93.0	66	-	130.7	104	0
広尾	22.3	+3.7	++	160.5	74	0	127.9	112	0
室蘭	23.7	+3.1	++	89.0	48	-	186.0	128	++
苫小牧	23.5	+3.1	++	162.5	82	0	157.9	129	+
浦河	22.9)	+3.0	++	93.5)	58	-	181.4	133	++
函館	24.9	+2.8	++	254.5	163	++	200.2	135	++
江差	25.0	+2.4	++	251.0	150	+	213.2	129	+

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
8月	月平均気温の高い方から	第1位	稚内	22.6℃	+3.1℃	22.6℃(1950)	1938
			釧路	22.1℃	+3.9℃	21.8℃(2023)	1910
			広尾	22.3℃	+3.7℃	22.1℃(2023)	1958
		第2位	室蘭	23.7℃	+3.1℃	24.5℃(2023)	1923
			苫小牧	23.5℃	+3.1℃	24.5℃(2023)	1942
			江差	25.0℃	+2.4℃	26.7℃(2023)	1941
		第3位	北見枝幸	22.0℃	+2.9℃	22.7℃(2010)	1943
			雄武	21.8℃	+3.0℃	22.4℃(2010)	1942
			網走	22.6℃	+3.0℃	23.0℃(2023)	1889
			帯広	23.2℃	+2.9℃	23.7℃(2023)	1892
			根室	20.5℃	+3.1℃	21.4℃(2023)	1879
			函館	24.9℃	+2.8℃	26.5℃(2023)	1872
			紋別	22.2℃	+2.9℃	22.6℃(2010)	1956
			月降水量(多い)	第3位	稚内	300.0mm	244%

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025